

■配属先近く Calle54 近辺の住宅地、この近辺は夜が危険なので、われわれは居住が許されない。



■私が住んでいる Calle81 付近、レストラン、商店が多く人通りも絶えないので、夜も比較的安全。ただ週末の夜は深夜まで音楽の大音響がある。



■最も高級な住宅地 Calle87 周辺、新築のアパートが多く、ジム、パーティールーム、映写室、地下ワインセラーなどがついているアパートもある。

Bogotá の市内は実に分かりやすい。東西の道を、Calle、南北の道を Carrera と呼び、住所もそれで表記される。私のアパートは Calle81 #8-51 であるが、それをタクシーに告げればアパートの前に運んでくれる。Calle60 以南は、あまり治安が良くないが、歴史的な建物、古い魅力的な街並みが多い(私はまだ行ってない)。居住地区はエストラート 1~6 のカテゴリーに分かれ、公共料金も異なる。区分 1 が最貧層(低所得

者居住地区)で最安価、区分 6 が富裕層(高所得者居住地区)で料金が高額に設定されている。一般的に、市域の北側に市は発展していて、Calle60 以北、Carrera15 以東に安全で良質な住宅地が並んでいる。Calle70~90 周辺が高級住宅地で、大使館なども多い。公園、散策路も充実していて、大小の公園がいたるところにあり、アパートの外装はレンガが多く、統一感があり美しい街並みが見られる。東側に見える丘が、ランド

マークとして市内のどこからでも見えるので、方向オンチの私も道に迷うことはない。東から西に丘の裾が急な傾斜をつくり、それに沿って高級マンションが林立している。ボゴタ市は 20 のエリアに分かれているが、私の行動範囲は、今のところチャビネイロという安全な地区に限られている。丘の一部の、モンセラテに教会があり、ケーブルカーが徒歩で行き、ボゴタ市が一望できるらしいが私はまだ行ってない。



■2 両連結のトランスミレニオ、専用道路を走るので渋滞はないが、朝の混雑がすごい。私の通勤は一般道路で別のバス。



■日曜日はシクロビア (CICLOVÍA) といって、片側路線が開放され自転車、ジョギング、それを自当ての出店などで賑わう。



■一旦雨が降ると排水が悪いので、道路は川と化す。左の写真とほぼ同じ場所、にわか雨であっという間にこの有様。

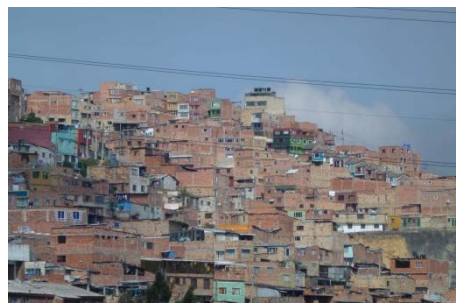
Bogotá の交通事情はまことに厳しく慢性的な渋滞といっている。車優先で、信号はほとんど車道向きに設置され横断歩道は極めて少なく、車が止まったら、その間を縫って小走りに横断するのが常で、命がけである。公共交通システムはバスのみで、南北に走るトランスミレニオという 2 両連結バスが専用

道路を走り、その他の一般道路もバスである。頻繁に来るがルートが細かく分かりにくく、時刻表はない。私のような老人が乗ると大抵、席を譲るのが習慣で、譲らないで注意を受ける場面をしばしば見た。何年も前から地下鉄の計画はあるが今のところ、いつになるかわからない。日曜日は、シクロビア

(CICLOVÍA) といって、一部の道路が自転車、歩行者に解放される。日曜に限らず、ジョギングや自転車をこく人を早朝によく見かけるが、高地(2600m)なので、私はすぐ息切れがして、とてもジョギングどころではない。



■現場から帰る途中の住宅地の急斜面、危険なのでもちろん単独では入れない。いたるところを犬が跋扈し、住人の風体もあまりよくない。



■急斜面に建つ、不法に建てられた住居群。これらの住民を良質な集合住宅に再定住させるのも、配属先の仕事である。



■建設中の再定住用集合住宅地のひとつ、3DLK だが 50 m 前後でかなり狭い。右手を歩いているのは私のカウンターパートの Anjelica (建築家)。

南部の丘陵地に広がる南米特有のスラム。不法住宅地なので構画上危険で、治安も悪い。合法地区と不法地区の間にある公園計画に意見を求められ、別案を提示したがすでに工事は進んで

おり、変更は難しく、参考意見にとどまっている。世界最強の竹、グアドワが、土留め、花壇に用いられているが、加工精度が悪い。右の写真は建設中の集合住宅で、3DLK だが約 50 m

(建設コスト約 160 万円/戸)で狭い。私が関わっているプロジェクトは、市の最南端にあり、治安は悪く、広い現場は完全に囲われていて、銃を持ったガードマンが常駐している。